

観光案内板「積殖の山口」の再建に向け、 ご協賛（1口＝1,000円）をお願いします。



柘植地域まちづくり協議会
観光看板設置実行委員会

昨年度、実行委員会ですまざまな検討をした結果、本年度、まちづくり協議会の事業として、壬申の乱ゆかりの観光案内板「積殖の山口」（右写真参照）を再興することになりました。費用（工事費、その他）は約8万円（予定）がかかることから、一人でも多くの方の支援を結集して、この事業を進めたいと考えています。

ご賛同頂ける方は、下部の様式でご協力をお願いします。

なお、ご協賛者には、6月25日の再建セレモニー（予定）に発行するパンフレットにご芳名を載せさせていただきます。（先着20名の方には粗品を用意しています）

※領収書・決算報告書は、事務処理上、後日、お届けすることになりますのでご了承ください。

※お問い合わせは、平日9時～5時にまち協事務局(45-8880) (事務担当：西田)へお願いします。

観光案内板「積殖の山口」の再建 趣意書

「積殖」は柘植の地名の古い表記で「日本書紀」に正史として初めて出てきます。日本書紀の壬申の乱の項で「6月25日、積殖の山口にて吉野から美濃へ進軍中の大海人皇子と近江を抜け出し鹿深（甲賀）を越えてきた息子の高市皇子が合流した」と記載されています。

この積殖の山口は現在の上町区平地区名阪国道下り線サービスエリア付近に当たるとされ、伊賀町時代に町教育委員会により伊賀インターへつながる国道脇に案内板（右写真）が建てられました。「柘植のほんとかるた」を作成するにあたり写真を撮りにいったとき、この案内板がなくなっていることに気づきました。いろいろ尋ね探してもらったところ、伊賀市の教育委員会で保管されていることがわかりました。時期や詳しい経緯は不明ですが台風で破損したので撤去されたようです。



柘植の地名に関わる貴重な案内板なので是非復活させたいと思い、まちづくり協議会を中心に昨年度、市へ再建の助成をお願いしましたが、財政逼迫のおりからかんばしい回答は得られず、この上は「地元で何とかせざるをえない」と考えました。台風で傷んだ案内板の補修と支柱や基礎の費用を見積もってもらったところ8万円程度（予定）とのことでした。

過日のまちづくり協議会定期総会で事業実施が承認されましたが、地域の方々のより広い理解と協力を戴ければ再建の意義も深まり素晴らしいと思います。建設の場所は上町区・平の防火用水槽のわきで土地所有者や区・組のご了解も得ています。

さらに完成除幕式を日本書紀の記述にちなみ、今年度6月25日（月）に実施したいと思っています。多くの方々のご協力ご協賛をお願いします。

平成30年5月1日

発起人代表 田中重之（観光看板設置実行委員会）

・・・（↓様式：この形式であれば別の紙でけっこうです）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

観光案内板「積殖の山口」の再興に、協賛（_____口）します。

お名前（_____）

連絡先（☎_____）

※お金を添えて、まちづくり協議会看板設置実行委員会（担当：西田/平日9時～5時）までご提出願います。